

2022.06.06

(件名)

海外在留邦人等向けワクチン接種事業（アストラゼネカのワクチンからノババックスへの切替：事前予告）

【ポイント】

●アストラゼネカ（以下A Z）のワクチン接種（初回接種のみ）については、7月中旬をもってワクチン接種を終了し、それ以降はA Zのワクチンに替えてノババックスのワクチンを使用していくこととなりました。

【本文】

1 現在、日本の空港における海外在留邦人等向けワクチン接種事業では、ファイザーのワクチン接種（初回接種（1・2回目）、追加接種（3回目））に加えて、アストラゼネカ（以下A Z）のワクチン接種（初回接種のみ）を実施していますが、A Zについては7月中旬をもってワクチン接種を終了し、それ以降はA Zのワクチンに替えてノババックスのワクチン（注）を使用していくこととなりました。

切り替え時期については7月中旬が予定されています。

（注）ノババックスから技術供与を受けて武田薬品が本邦で生産・流通を行うワクチン。

2 日本においては5月25日からノババックスのワクチン接種が可能となっておりますが、A Zのワクチンが初回接種（1・2回目接種）のみに使用可能であるのに対し、ノババックスのワクチンは初回接種（1・2回目接種）に加えて追加接種（3回目）にも使用することができ、mRNAワクチンを接種できない方に対しても追加接種（3回目）の機会を提供することができます。

3 A Zのワクチンの接種を希望する場合には、7月中旬までに必要回数の接種が完了するよう、早めに予約を行ってください。その際、本事業によりワクチン接種を希望する場合には、本邦入国時の水際対策として実施している待機措置の状況にも留意しつつ、接種間隔を考慮した上で渡航予定・計画を立ててください。

このメールは在留届に登録されたメールアドレスに配信されております。